

東海林太郎の立像を

顕彰会や支援者 建立委員会設立

直立不動で歌うスタイルで知られる秋田市出身の歌手東海林太郎（1898～1972年）の立像制作を目指し、NPO法人東海林太郎顕彰会（小国輝也理事長）や支援者が3日、「東海林太郎直立不動像建立委員会」（藤本光男会長）を設立した。県内外から寄付を募り、市内の県民会館跡地に建設される新文化施設（2021年度完成予定）の周辺に設置する計画だ。

新文化施設 周辺 寄付募り設置へ

東海林はロイド眼鏡にえんぴつ服をトレードマークとする昭和の国民的歌手。顕彰会が1975年、県民会館脇に胸像と歌碑を設置したが、昨年の県民会館解体に伴い、アトリオン1階へ移した。新文化施設完成後に施設周辺に戻す予定だったが、新たに立像を作り設置することに決めた。東海林太郎音楽館（秋田市大町）で3日開かれた委員会設立会議で、理事長に就いた同音楽館館長の佐々木三知夫

さん（73）＝秋田市＝は「直立不動は歌にいちぎだった東海林を象徴する姿。新文化施設完成を機にこの姿を見てもらい、東海林をより広く知ってもらえるよう、活動していきたい」と述べた。

会のホームページを11日に開始し、クラウドファンディ



直立不動で知られる東海林太郎（東海林太郎音楽館提供）



ングなどを通じて制作費用約800万円を集める計画。立像を制作する彫刻家は15日までに県内外から募集する。アト

立像制作に向けて今後の日程を話し合った設立委員会

リオンに展示中の胸像は立像完成後、同音楽館などでの展示を検討している。

制作の応募、問い合わせ先は佐々木さん ☎090・1933・2180（柳原史幸）